

露店（店舗）名：

代表者名：

露店等の火災予防チェックシート

安全で楽しい催し物・イベントとなるように、露店等を出店される方は、各自チェックをお願いします。チェックが終われば、主催者の方にこのチェックシートを提出して下さい。

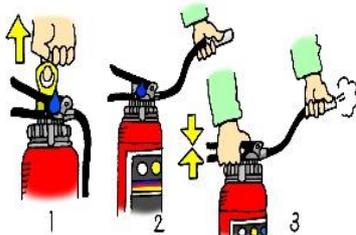


露店等開設時の注意について

- 使用する機材等に不具合がない。
- 強風等でテントなどが倒壊しないように固定している。

消火器について

- 1本以上の業務用消火器がある。(6型以上)
- サビや破損等がなく、有効期限内である。
- 火災時に速やかに使用することができる位置に設置している。



【取り扱い手順】

- 1 ピンを抜く
- 2 ノズルを持つ
- 3 距離をとりレバーを押す

※対象火気器具について ※使用に際し、火災発生のおそれのある器具

- 対象火気器具の周囲に可燃物がない。
- 対象火気器具は、安定した床上または台上で使用している。
- 本来の使用目的以外の使用をしていない。
- 本来の使用燃料以外の燃料を使用していない。
- カセットコンロで使用する調理器具の大きさは、ポンベの装着部を覆わない大きさである。

○カセットコンロを2つ以上並べ、その上に鉄板をのせて調理するような使用はしないようにしましょう。

○カセットコンロで炭の火起こしを行わないようにしましょう。

○使用中はその場を離れないようにしましょう。

LPGボンベ等について

- ボンベは、直射日光及び火気の近くを避けた場所に設置している。
- ボンベは、倒れないように固定し、関係者以外の人がみだりに近づけない場所に置いている。
- ガスホースに、亀裂がなく、接続部分に緩みがない

- 使用後は器具栓だけでなく、元栓も閉じましょう。
- 使用しないガス栓には、ゴムのキャップを付けておきましょう。

発電機、燃料携行缶等について

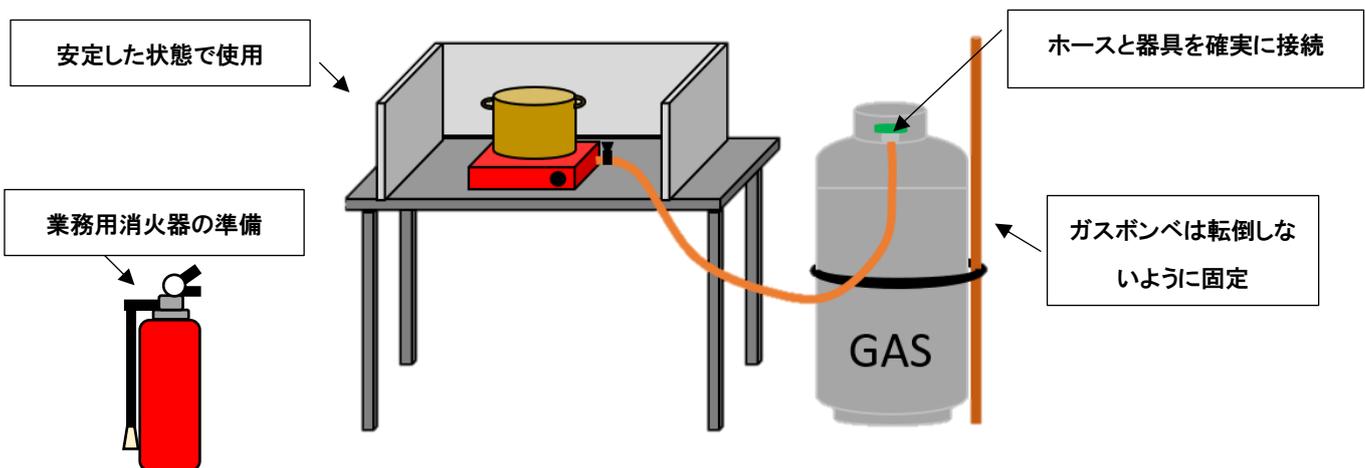
- 事前に燃料を十分に給油している。
- 使用場所は風通しが良く、安定した平らな場所である。
- 燃料漏れがない。(給油後にも確認しましょう。)
- 燃料の保管や取扱いを行う場所は、火気や高温部から離れ、直射日光の当たらない風通しの良い場所である。
- 燃料の保管には、燃料に適合した容器を使用し、しっかりと栓をする。

○やむを得ず途中で燃料を補給する場合は、エンジンを止め、エンジンが十分に冷却されていることを確認してから安全な場所で給油しましょう。

○長時間使用する場合は適時にエンジンを停止するなど、過熱に注意しましょう。

○給油する際、携行缶のキャップを開けた時に燃料が吹き出すことがあるので、火気のないところで携行缶のガス抜き栓をゆっくり開けてガス抜きをしましょう。

○直射日光や発電機の排気口等によりガソリン携行缶が暖められている場合は、ガソリン携行缶の蓋の開放のみならず、エア抜きも厳禁。直ちにガソリン携行缶を周囲に火気や人がいない日陰の風通しの良い場所に移動させ、ガソリン温度が常温程度まで下げた後にゆっくりとエア抜きをすることが必要です。



●ご協力ありがとうございました。チェックが終了した方は、主催者の方に提出をお願いします。